

# K.I.T.虎ノ門大学院 シラバス -ビジネスアーキテクト専攻

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先:虎ノ門事務局[メール or 電話])  
 ※ 授業中の食事は控えてください。また、携帯電話をマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科 目 名	区分/コード	単位数	VOD 閲覧	開講期
ITフレームワーク特論2	主要科目 W142	1	学内 のみ	3期 (後学期)
Practical IT Framework 2				
担当教員名	Eメールアドレス		連絡方法/オフィスアワー	
大野克己 野村宣生	-		メールアポイントにて随時	

関連している科目 (履修推奨科目)	
ITフレームワーク演習	
授 業 の 概 要 と 到 達 目 標	
授業の主題と概要	
<p>フレームワーク、あるいは、枠組みの意義は、とりわけ、最初に取り組むときに、関係者間で共通の認識を持つことができる点で大きい。</p> <p>世の中には、様々なフレームワークや知識体系と呼ばれるものが存在している。PMBOK や COBIT、ITIL などの有名なものもあれば、コンサルティング会社などで蓄積された経験やノウハウの集大成として、特に、新しく入社してくるメンバーや新任のマネージャーに対するトレーニングなどに活用されているものもある。</p> <p>「同じ業種でありながら、なぜ業績(ビジネスパフォーマンス)に差が出るのか。」</p> <p>「ビジネスパフォーマンスの向上に役立つ IT システムをどうすれば構築することができるのか。」</p> <p>この授業では、ビジネスにおける経営課題に取り組むためのプロジェクトに焦点を当て、プロジェクト企画提案などの実務におけるマネジメント層とのコミュニケーションに役立つスキルを身に着ける。</p>	
到達(修得)目標	
<p>コンサルタント、または、プロジェクトマネージャーとして、マネジメント層とプロジェクトの現場メンバーとの効果的なコミュニケーションをリードできる。</p>	
受講対象者	
<p>コンサルタントまたはプロジェクトマネージャーを目指す人</p> <p>業務責任範囲:プロジェクトの企画・推進、ビジネスモデルの変革</p>	
履 修 上 の 注 意 事 項 や ア ド バ イ ス	
<p>※ 欠席が、<b>2コマ(90分=1コマ)</b>を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。</p> <p>※ 本科目は、2コマ連続クラス(180分×4日間、合計8コマ)で構成する。</p>	

コンピテンシ修得目標				
知識領域(Y軸)		ヒューマンパワー(Z軸)		思考プロセス(X軸)
Y1: 基盤テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画
Y2: 応用サービス		Z2: 独創力	○	X2: 構想
Y3: ビジネスプロセス	○	Z3: ソリューション力	○	X3: 調査・分析
Y4: ビジネスモデル	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発
Y5: ビジネスマネジメント[ビジネス]	○	Z5: 変革推進力	○	X5: 変革
Y6: ビジネスマネジメント[知財]		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用
-	-	Z7: リーダーシップ力	○	X7: 評価・検証
-	-	Z8: オーナーシップ力	○	X8: ライフサイクル
プ ラ ク テ ィ カ ム				
イベント/ケース		教育技法		マテリアル/ツール
1	マネジメント向けプロジェクト企画提案プレゼンテーション	プレゼンテーションとクラスディスカッション		

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	50%	毎回、事務室より出席簿を準備する。 プラクティカムでのアウトプットに関しては、履修生が作成した資料における重要概念の理解度と使いこなし方を評価する。 また、本科目では、知識の獲得に加えて重要概念を充分理解した上での行動(プレゼンテーションやディスカッションでの発言など)に学習の重点を置いているので、その確認の場である授業への出席も重視する。
プラクティカムでのアウトプット	50%	
合計	100%	
テキスト、参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください ※		
テキスト (購入が必要)	オリジナルテキストを配布	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」アレックス・オスターワルダー他著/小山 龍介訳/(株)翔泳社	
参考 URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容	事前準備	担当者	時間
1,2	プロジェクトとは何か Project と BAU (Business As Usual) の違い、戦略と計画の違いなど、ビジネスにおけるプロジェクトの位置付けなどの基本的な事項についておさらいする。 リスクや WBS とは何か リスクには、良いリスクと悪いリスクがある。WBS (Work Breakdown Structure) やコミュニケーションプランの重要性など、フレームワークから学べる知識についておさらいする。	特になし	大野 野村	180 分
	イベント			
3,4	マネジメント向けプロジェクト企画提案プレゼン演習 (1) (2) プロジェクトの目的の決め方、その目的に対応する範囲に関するプレゼンテーションを行い、クラスディスカッションにより最終プレゼンテーションに向けた課題を明確にする。	プレゼンテーションの準備	大野 野村	180 分
	イベント			
5,6	マネジメント向けプロジェクト企画提案プレゼン演習 (3) (4) プロジェクトのソリューション、コスト、関係者、マイルストーン、リスクに関するプレゼンテーションを行い、クラスディスカッションにより最終プレゼンテーションに向けた課題を明確にする。	プレゼンテーションの準備	大野 野村	180 分
	イベント			
7,8	マネジメント向けプロジェクト企画提案プレゼン演習 (5) (6) プロジェクト企画提案の最終プレゼンテーションを行い、クラスディスカッションにより、マネジメント層とのコミュニケーションにおける留意点について議論する。	プレゼンテーションの準備	大野 野村	180 分
	イベント			

学習内容やスケジュール等、状況に応じて、一部変更・改善が生じる場合もあります。  
 講義収録は、特別講師を招く場合を含め、事情によっては収録できない場合もあります。

専任教授 確認記録欄
確認者氏名： 野村

《 虎ノ門事務室：03-5777-2227 / tokyo@kanazawa-it.ac.jp 》